

•

## E-Book 2.0 Magazine 2016年7月28日号

### Vol.6, No.46, 7/28/2016 [無償公開版]

ルネッサンス期ドイツ  
(ニュルンベルク)出身の画  
家、数学者などとして知  
られるアルブレヒト・デ  
ューラー (1471-1528)は、  
少なからぬ著書を執筆、  
制作、印刷、出版した。  
図版は彼の印刷所が使  
用した印章。



#### 目次

#### ANALYSIS & COLUMN

- 「黒鳥」出現の予感 2  
プロフェッショナル教育の再構築(2): アマゾン 3

#### NEWS & COMMENTS

- アシェットが YA 向け「ブックトラック」タイトル出版 4  
プロフェッショナル教育の再構築(2): Audible ACX 7  
総合メディア・ストア「ヘイスティングス」倒産 10

### E-Book 2.0 Magazine

2016年7月28日発行 (第6巻第46号、通巻第306号)

ISSN: 2185-954X (2010年9月15日創刊)

編集兼発行人: 鎌田 博樹

発行: オブジェクトテクノロジー研究所

〒185-0003 東京都国分寺戸倉 3-15-22

[www.otij.org](http://www.otij.org) Email: [newsletter@ebook2forum.com](mailto:newsletter@ebook2forum.com)

©2010-2016 by Object Technology Institute, Inc.

## ANALYSIS & COLUMN

### 「黒鳥」出現の予感



父レナードから2代にわたる米国出版業界の理論家として知られる[マイク・シャツキン](#)氏は、出版の歴史的な大変動期を2007-2012と考えている。しかし、大きな変化を予想していないわけではない。最近の[インタビュー](#)では5つのブラック・スワン「あり得ないようで、あり得ること」について語っている。すべて納得できる。[全文=[♥会員](#)]

近づく「ブラック・スワン」

著者との新しい関係の構築が急務

## ANALYSIS & COLUMN

### プロフェッショナル教育の再構築(2):アマゾン



プロセスと組織(人的資源配分、運用原理)は不可分のもので、大企業ほど安定=硬直したものとなり、そこの人々は自然に組織を中心に動く世界を求める。その仮想世界は変化する現実の前に破綻し、時代は新規参入企業と若い世代に有利になるのが道理だ。アマゾンは社会の変化を待たず、次の世代をつくり出そうとしている。[全文=♥会員]

変化する現実、硬直した「出版」観

アマゾンが主導するデジタル出版の再定義

## NEWS & COMMENTS

### アシェットが YA 向け「ブックトラック」タイトル出版



**Booktrack**  
SOUNDTRACKS FOR BOOKS

アシェット・グループ傘下の YA ブランド、Little, Brown Books for Young Readers は7月21日、新しいイメージ

的な読書体験を提供すべく、この夏から E-Book 用サウンドトラック技術を持つ **Booktrack** と提携した青年向けノヴェッラの新シリーズを提供することを明らかにした。LB の人気タイトルに付けたもので、毎月継続的に新刊を提供していくという。

#### 映画スタイルのサウンドを E-Book と同期

LBB の Booktrack シリーズは、Libba Bray、Laini Taylor、Kami Garcia / Margaret Stohl、Jennifer E. Smith、Rebecca Serle といった人気作家のタイトルを揃えている。翻訳や映画で世界的に知られた作家と作品がラインアップされている。販売は Booktrack/Hachette のページで行われ、iOS と Android、Chrome のアプリで利用できる。

Booktrack は、映画スタイルの音声（環境音／臨場効果／音楽）を読書の進展と同期させるもので、音量、速度はユーザーが調整することができる。音声トラックのクリエイティブは、映画や TV の映像作品のサウンド・スタッフが内容に即して制作したもので、読者に違和感を持たせず、イメージを浮かび上がらせるのに役立つと思われる。どんなものかは、ともかくサンプルで確認していただきたい。かなり巧く

つくってあるので、長文の読書に親しむ以前の青少年には効果的と思われる。同社によれば、これにより、内容の理解で 17%、記憶の保持で 30%、満足度で 35%の向上が確認されたとしている。これまでに 40 以上の言語で、フィクションを中心に 1 万 6,000 タイトル以上が提供されている。

### 読書体験を拡張する Booktrack

「映画的演出」が嫌いな大人や「.30 ウィンチェスター・マグナムの音はこんなじゃない」というオタクはともかく、これからの青少年には音のないストーリーはなじみにくいかもしれない。オーディオブックでも効果音付のものは多いので、Booktrack は（カラオケのような）自分で読むオーディオブックということも出来る。マンガの元祖とも言われる江戸の絵草紙は、文章を補うものとして挿絵を採用して幅広い読者を開拓し、同時に独自の表現方法を創造した。E-Book では他のメディアの要素を導入した新しいフォーマットと市場の開発が待たれているが、オーディオブックに続いて新しいサウンド系フォーマットが離陸しそうだ。

E-Book の「拡張」における重要な焦点は「イマーシヴ」（没入）ということだが、多くのアプリや IO を搭載したモバイル・デバイスで、バランスのとれた没入体験を実現するのは簡単ではないし、浸かりすぎると（ポケモン GO のように）危ないこともある。Booktrack も、コンテンツと使う環境によっては、とくに注意が必要だろう。◆（鎌田、07/25/2016）

## 記事タグ

本誌カテゴリ: コンテンツビジネス, データフォーマット, テクノロジー,  
ユーザー体験, 出版・製作,

タグ: Booktrack, アセット, 拡張 E-Book

## NEWS & COMMENTS

### プロフェッショナル教育の再構築(2): Audible ACX



コンテンツビジネス、データフォーマット、テクノロジー、ユーザー体験、出版・製作、アマゾン Audible は、全米の大学生を対象にオーディオブックのプロフェッショナル養成夏季コース **ACX University** を提供している。7月13日からほぼ毎週水曜日、

YouTube でライブ送信されているが、過去のものを含めて、録画版は自由に利用できる。今年の構成は、経営・管理的な内容が充実しており、新興メディアのリーダー養成が意識されているようだ。

#### オーディオブックの製作から経営管理までカバー

ACX (Audiobook Creation Exchange)は、作家、出版社とプロフェッショナル・コミュニティをつなぐイニシアティブとして最も成功を収めたもので、ACX が昨年夏から始めた ACX University (ACXU)はさらに多くが期待されている。今年のカリキュラムは、ナレーターよりプロデューサーにフォーカスしたもので、ジャンルごとの概観、声優ブランドの創造と管理、プロデューサーの仕事、キャリア構築といった内容となっている。ACX が日常的に行っている教育プログラムの延長ではなく、大学レベルの総合的なものとなっているのが目立った変化と言える。



この数年でナレーター教育は充実しているが、それは YouTube の [Audible ページ](#)を見るとよく分かる。すべて無償教材で済んでしまうので、教育が独立したサービスになりにくいほどだ。最近では著者が語り手となって自主出版するケースが増えているが、A-Book 自主出版のサポートは、ACX のフォーカスの一つだが、それによってプロの仕事への著者のリテラシーを高め、サービスへの需要を高めることにもつながるといふ発想がある。アマチュアリズムとプロフェッショナルリズムのオープンな協調は、米国のテクノロジー文化の最も優れた部分だと筆者は考えているが、その成果が出版で開花するのを見ることができるのは嬉しい。例えば、知識・経験ゼロの著者にマイクロフォン技術を教えてくれるチュートリアルもある。第一線のプロが教える内容は分かりやすく、情報量が多い。

## 人材育成へ大学との提携を強化

ACX は大学への教育プログラムへの提供を重視しており、学部学生を対象としたワークショップを USC、BU、Columbia、Juliard、NASDA、The New School、PACE、Purchase College、Rutgers、Stella Adler、Syracuse、NYU Tisch といった有名大学、芸術系カレッジで行っている。ドラマを専門とした学科では、A-Book ナレーションを卒業創作とする例もあり、そこでは学生のキャリアパスの一つとしても設定されている。

今年の ACXU が、プロデューサー、ディレクターといった A-Book ビジネスのリーダー教育に重点を置いているのは、これまでの活動の成果の上に、さらに産業を発展させる人材とネットワークの形成を目指していることを示している。この展開は筆者の予想を超えており、

出版界の中でも突出している。◆ (鎌田、07/27/2016)

### 記事タグ

本誌カテゴリ: コンテンツビジネス, データフォーマット, テクノロジー,  
出版・製作, 教育, 関連産業

タグ: ACX, Audible, プロフェッショナル教育

## NEWS & COMMENTS

# 総合メディア・ストア「ヘイスティングス」倒産



先月倒産した米国(本社テキサス州アマリロ)の総合メディア・ストア Hastings Entertainment に買手はつかず、全 126 店舗が 10 月末に閉鎖されることが明らか

になった。1968 年創業のヘイスティングスは、書店ではないが書籍販売で 1 億ドルを売上げたこともある。この業態は米国で終わりがつつあるようだ。

### 消費ライフスタイルの変化：待っていても客は来ない

2014 年に売上 4 億 2,000 万ドルで 1,090 万ドルの赤字を出した同社は、昨年 4 億 100 万ドルの売上、1,660 万ドルの損失となって存続を断念し、先月に破産申請を出していた。ヘイスティングスは競売の結果、精算専門会社を買収され、出版社や流通への債務のすべては 3-600 万ドルと推定される在庫品の処分で購入されるといふ。ボーダーズ倒産の時のような混乱はない。おそらく前から想定され準備されていたことなのだろう。

倒産の原因は、地方都市／近郊を中心とした「総合メディア・ストア」業態のオペレーションが困難になっていたことと思われる。赤字が慢性化したことから、2012 年には売却を決め、2014 年に、わずか 2,140 万ドルで Draw Another Circle, LLC に売却された。ヘイスティングス

(のオーナー)は、地域ごとに特色を出したり、コミックを販売したり、書籍売場を減らして玩具コーナーを増やしたり、同業を買収したり、それなりにやることはやった。もちろんオンラインもやったが赤字を拡大しただけのようだ。これは現在 Barnes & Noble が行っていることと重なる。

20世紀まで、本とレコード(CD)、ビデオ(DVD)はメディア商品の中心であり、これらを扱う店舗は文化産業を支えていた。しかし、経済が停滞する中では、店舗営業は高コストで、価格、規模をバランスさせて利益を確保することが難しい。商品を多角化しても、同じ問題に見舞われるだけだ。それは人々の生活が変わったからだ。インターネットによって人々の生活は変わり、たいていのものはオンラインで買うのが合理的になった。店舗が無用になったわけでないことは、アマゾンが大規模出店を考慮していることでも明らかだ。しかし、店舗だけではペイしないし、地域や消費者特性に最適化した店舗は可能だが、かつてのショッピングセンターは構造的にリスクが高い。

1980年代は不況だったが、企業はまだ耐えることで対応できた。いままも忍耐は必要だが、過去の延長上では報われない。重要なのは顧客であって、顧客なしでは商品も店舗も意味を持たない。◆(鎌田、07/27/2016)

#### 参考記事

- [Hastings Entertainment Going Out of Business](#), Shelf Awareness News, 07/21/2016

- [With No Buyer, Bankrupt Hastings Will Close All Stores](#), By Jim Milliot, Publishers Weekly, 07/21/2016Jul 21
- [Hastings set to liquidate, close all 126 remaining stores](#), By Chris Meadows, TeleRead, 07/22/2016

#### 記事タグ

本誌カテゴリ：コンテンツビジネス, 流通・書店・図書館,

タグ：ビジネスモデル, ヘイスティングス, メディア・ストア

## E-Book2.0 Magazine V6N46

Copyright © 2016 オブジェクトテクノロジー研究所

ISSN 2185-954X

発行日：2016年7月28日

発行者：鎌田博樹

発行所：オブジェクトテクノロジー研究所

185-0003 東京都国分寺市戸倉 3-15-22

Web サイト <http://www.ebook2forum.com/members/>

Email : [newsletter@ebook2forum.com](mailto:newsletter@ebook2forum.com)